

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 02 企業集積と産学官連携の推進

施 策 : 02 産学官連携や異業種連携による価値の創造

施策担当職・氏名	企業振興課長 熊谷 和久
-----------------	--------------

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	<p>イノベーションパークを拠点とした産学官連携や融合、共同研究、これからの研究成果を実践する場を提供することにより、inove（イノベ）への質の高い技術の蓄積と次代を担う人材を育てるとともに、金融機関等との連携によるファンド創成などの模索を進める必要があります。また、ICTを活用した付加価値の高い地域資源やサービスの提供により、企業の成長や起業を支援し、若者の雇用機会を創出します。</p>
--	---

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし セミナー、フォーラム等の交流事業の回数 単位 回	0	12	25	35	54	70	-	
			20	44	0	-	-	0.0	
2	幸福 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5	42	43.5	45	46	-	
			40.4	40.4	0	-	-	0.0	
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成28年度	平成29年度 (見込)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	4 年 後
1	2631 経済振興連携事業 産学官連携による課題解決の実績（累計） 単位 件	目標値	33	37	39	41	43	45	45
		実績	35	0	-	-	-	-	-
2	7508 産学官共同研究事業 共同研究数 単位 件	目標値	3	2	2	2	2	2	2
		実績	2	0	-	-	-	-	-
3	8166 起業機会創出支援事業 事業の実施により市内で創業した方 単位 人	目標値	1	1	1	1	1	1	1
		実績	2	0	-	-	-	-	-
	単位	目標値							
		実績							
	単位	目標値							
		実績							

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 02 企業集積と産学官連携の推進

施 策 : 02 産学官連携や異業種連携による価値の創造

施策担当職・氏名 企業振興課長 熊谷 和久

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

滝沢市の強みである大学の立地を最大限に生かし、大学との連携を促すため、企業と大学とのマッチングを実施するとともに、inove立地企業、市内企業の企業間の連携を推進しています。平成22年より実施している産学官連携事業を継続し、研究機関と市内企業の共同研究23件、市との共同研究9件を実施しています。具体的には、保育園の業務支援アプリケーションの開発、ネットショップを利用したブランド訴求、スマートフォンアプリによる滝沢の魅力発見などであり、単に企業の支援ということではなく、地域活性化も同時に図られています。

また、企業との連携などを促進するため、イノベーションフォーラムや地域人材育成セミナーをはじめとするフォーラムやセミナーも開催しております。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

経済のグローバル化、日本市場の縮小により日本企業の海外への設備投資が続き、経済回復の兆しが見える中にあっても国内における製造関係の拠点化の動きは継続的に鈍い状況となっております。このような中、従来型の誘致の方法を見直し、地方から日本の産業を創造する取り組みが必要となっており、日本の各地において、地域の資源を最大限に活用した付加価値の高い産業創出の取り組みが行われております。また、日本企業の海外への設備投資が続く一方で、日本拠点の付加価値化の動きもあり、これらを見通した付加価値ある地域を創造することが重要となっております。更には、人材不足が課題となっている中で、地方の人材を目的とした企業の地方への動きもあり、様々な角度から人材育成を行っていく必要があります。

(3) 基本施策との関連性

基本施策である「企業集積と産学官連携の推進」において、本施策は産学官連携の計画を示すものであり、産学官、企業間などの連携を強力に推進するとともに、連携から生まれる新たなビジネスなどの付加価値創出が必要となっております。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

社会環境の変化に記載のとおり、地域経済の活性化と雇用創出は地域の資源を最大限に活用した付加価値の高い産業創出の取り組みが重要となっております。そのような中、滝沢市には岩手県立大学が立地しており、先進的な研究成果と高度人材という強みがあり、これらを最大限に生かした取り組みを進めるとともに、滝沢市の規模と環境を生かした実証実験などを進め、新たな付加価値を作り上げていきます。また、これまで築いた企業や関係機関とのネットワークを更に充実させるとともに、更なる連携を図るためセミナーやフォーラムを率先して開催します。更には、他地域との連携を進めることで滝沢市の付加価値を高めていきます。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題

今まで継続してきた共同研究、実証実験を充実していくとともに、inoveを中心に、産学官連携、企業間連携、異業種連携のきっかけとなるフォーラムやセミナー等を更に充実し、滝沢発の開発が進むよう企業、大学等とのコーディネート充実してまいります。また、企業情報や新たな技術の情報の収集などにアンテナを高め、他の地域や関係機関等とのネットワークの構築を図ります。更には、地域の活性化の根源である人材育成について強化します。

(3) 基本計画内方針及び平成30年度重点課題に基づく優先順位の考え方

産学官連携、企業間連携、異業種連携は滝沢発の開発を目指すもので、そこから生まれる地域経済の活性化と雇用創出を目指すものです。その根幹となる連携促進をしっかりとするために、inoveを連携、開発の中心施設として定着させ、人の交流を促進します。また、それらの根源となる人材の育成も優先し進めます。

